

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～26℃台を示し、やや低めからやや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり63kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり524kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり25kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり133kgの水揚げで、前週の11%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の50%（前年並み）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり291kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり199kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり581kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/19～6/24の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、1日延2隻、総計62箱、1航海最高32箱、平均31箱、スルメイカ（25入）52箱、ケンサキイカ（3立）10箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-10号 五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」・「第7-11号 6県ケンサキイカ情報（令和7年度 第1号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>